研究に関するお知らせ

2013年1月1日から2018年12月31日の間に、京都大学医学部附属病院で肝腫瘍に対して金マーカー留置術を受けた方へ

研究課題名

肝腫瘍に対する体幹部定位放射線治療用金マーカー留置におけるリアルタイム画像融合技術の有用性の調査研究

研究責任者：富樫かおり

概要

肝腫瘍に対する体幹部定位放射線治療(SBRT)では、治療前に金マーカーを留置し、治療中にその位置情報を確認しながら治療を行うことで、腫瘍に対する線量を高めつつ、周囲の正常組織に対する線量を極力低減しうることが行われています。金マーカー留置にあたり、超音波画像診断装置(US)の有用性は報告されていますが、近年開発されたリアルタイム画像融合技術の併用に関する金マーカー留置術への有用性は分かっておらず、US単独あるいはリアルタイム画像融合技術併用とどちらの方法がより正確に金マーカー留置を行うことができるかについて調査研究を行っています。2013年1月から2018年12月の間に京都大学医学部附属病院で肝腫瘍に対して金マーカー留置術を受けた方を対象とします。対象者の過去の検査記録と検査画像を参照し、金マーカー留置術の際に使用された方法別にデータを集計・解析し、手技の向上を後ろ向きに検討します。

京大病院では画像診断のさらなる発展のため、検査結果の画像や所見を後日研究目的で使用する場合があります。このような研究は医の倫理委員会の審査を受け、承認された後に関連の研究倫理指針に従って実施されます。

- 研究のために当日の検査内容が変更されたり追加されたりすることはありません。
- 仮に研究に使用されても住所・氏名等の個人情報が公開されることはありません。
- 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

以上をご理解の上、検査をお受けください。

ご自身の医療画像の研究使用をご承諾いただけない場合は、当教室では書面でのご連絡を受け付けておりますので、以下の研究に関する相談窓口、メールか郵送かFAXでのご連絡をお願いします。

《研究に関する相談窓口》

(郵送) 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）
（FAX）075-771-9709 TEL：075-751-3760
（電子メール）：nmdioffice@kuhp.kyoto-u.ac.jp

ご連絡の際には以下の情報をお願いします。

- ご氏名
- 京大病院の診察券の番号
- 拒否する研究の名称（複数可、「全て」という指定も可）

なお、拒否された場合には検査結果が研究に用いられることはなく、拒否されたことにより不利益を被ることもありません。

また、研究の実施に支障のない範囲で本研究の計画書等を閲覧できます。閲覧希望のほか研究に関しては、上記相談窓口もしくは下記京大病院相談窓口にご連絡ください

《京都大学相談窓口》

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54
京都大学医学部附属病院 相談支援センター
TEL:075-751-4748
電子メール：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp